

## 故郷の思いを襷につなぎ

### 県地区対抗女子駅伝競走大会

早春の霧島路を駆け抜ける、第37回鹿児島県地区対抗女子駅伝競走大会が、1月28日に霧島市で開催され、県内12地区の代表選手が6区間21・0975㌔を駆け抜けました。

熊毛チームは、Bクラス死守に一步及ばなかったものの、9位に入る奮闘をみせました。本町からは住吉蘭選手（向町）が、第6区で出場し、その力走で声援に応えました。



## おいしいお餅ぺったんこ

### 中種子チャレンジキッズ活動



1月27日に、中種子チャレンジ・キッズ活動としてもちつき体験を種子島中央武道館サンヴィレッジで開催しました。

重たい杵を力いっぱい振り絞って、餅をついたあとは、綺麗な丸になるように工夫しながら餅を丸めていき、きなこ餅やお汁粉などにしていただきました。

おいしさのあまり、何度もおかわりをしている子もみられました。

## 地域おこし協力隊通信 (No. 85)

### ダウンが恋しい種子島の冬

この日の種子島は天気予報アプリに風速14mと表示されていました。（ちなみに私が移住前に風が強くて外に出たくない！と感じた日は、風速4mでした）体が飛んでいきそうな風の強さです。南国をイメージしていた種子島、鹿児島

島の冬がこんなに寒かったと島に引越す際、山形の実家で母とこんな会話をしました。

**私** 「島でこたなあつづい服着ねよね、こさ置いてんぐは〜」（訳：島でこんなに暖かい服着ないよね、ここ（実家）に置いていくね〜）

**母** 「置いてんげは、ほだなの着てたら向ごうの人から笑われっぞ〜！」

（訳：置いていきなさい、そんなの着てたら向こう（島）の人から、笑われちゃうよ！）

と談笑しながらダウン等の防寒具を実家のクローゼットに投げ込んできました。しかし今、そんな自分を恨んでいません。なぜなら、この記事を書いている1月24日（水）は、島に寒波が到来しているからです。種子島に引越してきてから、今日は一番寒く感じます。

は。島の日常はまだまだ驚きの連続です。

さて、話題は変わりましたが、1月下旬に熊毛地域の地域おこし協力隊の交流会が開催されました。私たちは他の市町村の協力隊と交流できる機会が減多にないので、意見交換ができて非常に貴重で有意義な時間でした。そこで出会った屋久島町の協力隊は、屋久島の「苔」の研究や魅力を発信している方でした。その方は中種子の男洲女洲の滝を見て一言「苔が面白く、観察会が出来るといい良いところ」と仰っていました。

皆さんは男洲女洲の滝の苔をじっくり観察したことはありますか？私は無いです。正直にしたことも無かったです。ですが、苔に詳しい人がそう仰るとちょっと興味深く感じます。寒さが少し落ち着いたら、ゆっくり見に行ってみようと思います。

大山 愛



大根の収穫  
家庭菜園も頑張っています